

県生協連・会員生協 役員研修会を開催

1月13日（金）オルガホールにて、3年ぶりとなる県生協連・会員生協役員研修会を開催、61名（会場44名、オンライン17名）の役職員が参加しました。岡山県県民生活部くらし安全安心課の塩飽成史課長を来賓に、パラノルディックスキー日本チームゼネラルマネージャー荒井秀樹さんを講師にお招きし、パラにみる多様性のある共生社会の実現をテーマに学びました。

荒井さんは「パラリンピックの最前線 新田佳浩の金メダルへの道」と題して、7大会連続でパラリンピックメダリストを輩出するチームをどのようにつくってきたのか、中学生の新田選手との出会いやパラリンピックの認識の変遷を語られ、障がいを受け入れ可能性を伸ばすこと、「できない」と諦めないでできるための工夫と継続が大切なことなどのお話がありました。障がい者と健常者、障がい者同士の交流が本人と周りを変えていき社会を変えていくこと、子どもたちと交流しパラに触れる「体験」をすることが多様性・共生を理解する大人を育て、障がい者のための仕組みづくりが結果として誰もが住みよい街をつくることなどを豊富な事例を交えて語られました。



「生協のみなさんも、次の世代に伝える仕事をしている、一緒だなと思う。」



日本生協連やおかやまコープが贈った食材が選手にとっても喜ばれていること、応援メッセージが力になっていることに感謝を述べられ、「ぜひ選手の活躍を見てもらって、SNSにいいね！をしてほしい。選手の励みになります。応援をよろしくお願いします。」と力強いメッセージを残されました。

（左写真：荒井さん講演資料より）

会の終わりに、岡山県生協連から日本障害者スキー連盟に、シットスキー製作費を寄付贈呈しました。パラスキーの普及拡大や子どもたちへの競技体験機会が増えるよう、活用されます。



県生協連 和泉かよ子理事から
目録を贈呈